

# サルビア

平成30年4月12日 第3号

## 祝 表彰

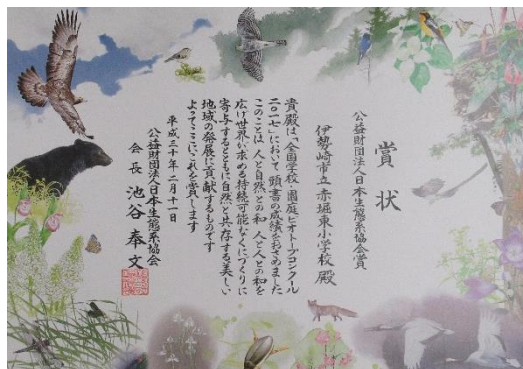
昨年度末に、うれしいニュースが続けて届きました。本校の教育活動の中でも、これまで継続して取り組んできたビオトープ学習と俳句作りが全国レベル、県レベルで表彰されました。大変喜ばしいことです。

## 公益財団法人日本生態系協会賞

本校には、敷地内に小さな森 ビオトープがあります。それを通しての学習や管理状況について、9月に実地審査があり、2月に上記の賞と右の賞状をいただきました。

ビオトープ学習では、毎年3年生が「総合的な学習の時間」の授業で一年かけて、そこに集まるトンボやカブトムシなどの観察を行っています。年に7回ほどは、外部講師（ビオトープ管理士）が加わり、専門的な指導をしていただいています。また、3年生の保護者の方には、夏のPTA親子奉仕作業の際にお子さんと一緒にビオトープ管理（草むしり等）を行っていただいています。おかげで、審査員の方から「外からの生物（アメリカザリガニ等）を入れず、赤堀の自然を守っているところが良い」との講評をいただきました。この3月には3年生が、次の代を担う2年生を招待して調査発表会を行いました。

新学期が始まった今、ビオトープは子どもたちの憩いの場としてにぎわっています。



## ジュニア上毛賞 俳句 学校賞

本校では、教育的な活動の第一に俳句作りを掲げています。子どもたちは、その瞬間、瞬間で、見たこと、感じたことを、三十一文字の俳句にして自由に表現しています。子どもたちの俳句は全て上毛新聞社に投句し、優秀な作品は上毛ジュニア俳壇（毎週木曜日）に掲載されています。昨年、本校の投句数では県3位となりました。また、学校賞（\*注）もいただくことができました。

\*注 学校賞は、年間の入選句数が100句を超える学校に授与される賞で、昨年は県内で5校（詩での受賞校を含む）が受賞しました。

